

二月二日に、守の館に会集し宴して作る歌一首

四二三八番

君きみが行ゆき もし久ひさにあらば 梅柳うめやなぎ 誰たれと共ともにか  
我わがかづらかむ

霍公鳥ほととぎすを詠よむ歌うた一首

四二三九番

二上ふたがみの 峰をの上への 繁しげに 隠こもりにし そのほととぎす  
待まてど来きな鳴なかず